

福祉行政
ひとり親家庭への
支援策は



蒼政会
坂本 賀一

問 ひとり親の家庭の立場を考えた場合、どのような支援策があるのか分からない状況の方もいると思うが、そのような場合はどうしたら良いのか伺う。

答 ひとり親家庭のみを対象としたものではないが、こうした支援情報について掲載している「ひろば」という子育て情報誌を、「こども課」及び「健康増進課」の窓口にて配布を行っている。
また、毎年の児童扶養

文化・観光
東金ゆかりの人物を
活用した文化発信について



公明党
中丸 悦子

問 東金は歴史が長く、江戸時代に活躍した近江局等も東金にゆかりがあるなど宝が満載の地域である。東金の歴史において関連した人物を活用し、東金の文化の発信ができないか伺う。

答 現在、東金文化会館において、「東金を名を残した人物」をテーマとして徳川家康や関寛齋など総数56名の人物に限定し、展示会を開催している。その56名の他にも、東金の文化・経済の礎を築いた人物が多数おり、彼ら

一般行政
民間への
研修実施について



公明党
佐竹 真知子

問 近年、市民の行政に対する要請が複雑多様化してきている。行政サービスの内容はもちろんだが、職員の親切丁寧な対応や印象の良い身だしなみ、言葉遣いなどが求められており、接遇力の向上は必要不可欠ではないかと感じている。

答 民間企業への研修の派遣により民間の接遇や考え方を体験することは、東金市にとって有益と考える。しかしながら、接遇については職員全体にいきわたらせることが重要であることから、少数の職員を民間企業に派遣するよりも、強烈的な講師を招いて多くの職員が受講することが広範的で効果的であると考えている。そのよう

医療行政
東千葉メディカルセンターへの
アクセスについて



東嶺会
相京 邦彦

問 患者等の交通アクセスの利便性を向上するため、東金駅や東金市役所、九十九里町役場等の公共施設を拠点に、地元バス会社を使ってシャトルバスの運行を検討してはどうか。

答 また、診察終了時間がずれ、乗合タクシーの利用が来ず、一般タクシーを利用した場合など、状況を限定してタクシーチケットによる一般タクシー利用者への補助などは出来ないか伺う。
答 東千葉メディカルセンターへの公共交通アクセス

一般行政

城西国際大学との
連携に関する課題は



蒼政会
前嶋 里奈

問 城西国際大学卒業と同時に多くの学生が転出してしまふことだが、連携に関する課題として、今後どのように改善していくのか。

答 城西国際大学は知(地)の拠点であり、地方創生の実現のためには若い方が集い活躍できるまちづくりが必須と考える。
大学卒業後、この地域で活躍できる仕掛け作りが何より大切である。例えば、東千葉メディカルセンターへの就業支援などは良い例である。今後の連携の基本的な指

医療行政

東千葉メディカルセンターの
中期計画見直しの状況と成果は



公明党
上野 高志

問 経営の改善に向けた様々な取り組みを行い、効果も出つつあると思う。市民が希望を持ち、医師・看護師をはじめ現場のスタッフが自信を持って業務にまい進できるような、明るい話題や積極的なPRについて伺う。

答 今年度は待望の産科が開設し、分娩件数が順調に増えており、出産を済ませたお母さんや家族から、この病院で出産できて本当に良かったとの声を聞く。
また、救命救急センターで

建設行政

安心して住める
市営住宅に



日本共産党
櫻田 あや子

問 公営住宅法は国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低所得者と社会福祉の増進に寄与することを目的として制定されている。この法律に基づいて低所得者の人たちが安心して住める市営住宅にすべきである。入居者から、市営住宅の改善に関する要望等が寄せられているが、市としては現状をどのように考えているのか伺う。

答 市営住宅は、かなり老朽化が進んでおり多くの相談事項等の中で、主なものについては、施設や設備の老朽化や浴槽、風呂釜の自己負担、水洗便所の整備等が挙げられる。木造平屋住宅については退去後、用途廃止をする方針となっているが、その他の住宅については、今後策定される東金市公共施設等総合管理計画を受けて、長寿命化計画を策定し、老朽化に対する修繕計画や居住性を向上させるための改善計画を作成していきたいと考えている。

医療行政

「東千葉メディカルセンター」
地域に根ざす病院へ
県は全面支援を



日本共産党
前田 京子

問 「三次救急だけでなく一般診療もやってほしい」「東金病院の機能を引き継いでほしい」という声が寄せられている。また、医療関係者は、救命救急センターは「想像を絶するほどお金がかかり、相当の患者を集めないと巨額な損失が生じる」と言っている。救命救急センターを備えた病院を1市1町だけでは到底支えきれず破たんしかねない。県の経営参加を強く求め、慢性期医療に対応する地域密着型の病院にすべきと考えが見解を伺う。

答 慢性期医療等の充実については、次期中期目標、中期計画の策定時に改めて医療需要の動向、費用対効果について調査、分析をして検討する。
県は千葉県内全域をみたら高度救急は直接行っているが、他の施設に県が入って三次救急をやっている病院はない。見直しの計画に沿っていけば3年後には単年度黒字となる見込みであり、今後、救急も受けていただけの状況が増え、医師も増えていくので見守っていただきたい。

市政に関する一般質問